

注目の賃貸スタイル

オシャレで機能的につくるコツ

第12回 民泊

「さかも多いと思います。見ただけではなく、機能的にも快適で日本らしさを感じてもらえる空間作りは？」

「まず日本らしさを表現する上で、外せないのが畳です。靴を脱ぎ歩いたり、座ったり、寝転んだりする感覚は是非外国人に味わってもらいたいです。既存の和室活用や置き畳も良いのですが、フロアリング

機能的な和アイテムで空間演出

「畳を民泊だけ貸し出ししているオーナーさんも多いと思います。見た目の一部を高さのある畳空間にすれば、椅子に慣れている外国人もソファのように腰かけることができ、馴染みやすく、違和感なく使ってもらえることですね。収納付ユニットになっている便利な商品もあるので、家具としてお部屋に合わせて配置を提案ベンチにしたり、ベッドにしたり。気軽に畳の空間が

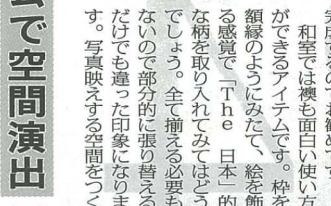


「TC21」は、経験豊富な100人の女性インテリアコーディネーターによる暮らしやすさを追求した、デザイン事務所、賃貸物件での困り事相談に乗るだけでなく、セミナー講演など幅広く活躍している。

(毎月第4週掲載)



「完成するのでお勧めです。和室では襖も面白い使い方。また、民泊ではコンパクトで使いやすい水廻りも重要で、限られたスペースで個室な柄を取り入れてほしい。トイレは1つあるだけでもいいので、最低限必要なトイレと洗面台を同室に設置。浴槽はやめ、シャワーユニットにする方が、脱衣スペースなどを広めるのに有効です。さらにトイレと洗面台の白に生えるようなコントラストの強い色やアクセントクロスなどでポップな空間に仕上げれば、好感度は上がり人気物件になるでしょう。」



「民泊では個室の高さLDKに仕上げた。また、明るい木目調の床材や白のクロスに変えることで、従来の暗い室内から、光が各戸に届き、光が入る明るい居室となった。実際に入居を決めたのは30代ファミリー世帯。入居の決め手となった。賃料は1万円アップの12万円。施工費は500万円だった。同社担当の久保明大氏は「築60年でも入居者を選んでもらった。折り返しの30年をめどに再投資を行った。共用部なども改修し、入居者層のさらなる若返りを目指したい」と話す。

床と壁を木目で統一

築54年でも賃料3万円アップ

リノベーション 解体新書

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

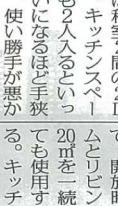
「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分



▲木目統一し、デザイン性を高めた

光が入る明るい室内

30代のファミリーが入居

市萬

「この改修を行なったのは、賃貸物件のリノベーションリノベーション事業を行うリノベーション(兵庫県尼崎市)。2013年の社会人をターゲットにしたので、施工中に入居が決まった。一花 駅から徒歩18分

▲木目統一し、デザイン性を高めた